

ユニオンファンド 月次レポート

第 132 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2019年11月7日作成

MONTHLY TOPIC

ラグビーワールドカップを観て思ったこと

予想以上の盛り上がりを見せた今回のワールドカップ。大会の公式サイトは「記録破りで画期的な大会になった」と高く評価していました。全体の99.3%に当たる184万枚のチケットが売れたのには正直驚きました。決勝戦には史上最多の7万人以上が詰めかけ、ファン・ゾーンと呼ばれる特設会場には期間中に113万人が集まりました（数字は同サイトより）。

強くなった日本チームと多様性

ラグビーは元々面白い競技ではありますが、盛り上がった最大の理由は、何と言っても日本代表が史上初のベストエイト進出を果たす快進撃を続けたことでしょう。視聴率は最初のロシア戦が18.3%でしたが、準々決勝の南アフリカ戦は41.6%へと、試合に勝つごとに高まってきました（ビデオリサーチの調べ。関東地区）。

ワールドカップでの勝利とはほぼ無縁だった日本がここまで強くなったことは世界を驚かせました（日本は直近2大会でなんと7勝2敗です）。選手・コーチをはじめ関係者の多大な努力によるものです。加えて、国際化あるいは多様性という点にも目を向けたいと思います。選手のほぼ半分は外国生まれで、ヘッドコーチも外国人。それがOne Teamというスローガンの元に固く結束したことで、世界レベルの力を得たのだと思います。

これは、投資あるいはユニオン投信にも通じるものがあります。力を持っている企業を世界から集めた混成チームこそが私たちのファンドです。どのようなメンバー（投資先企業）を集めどう組み合わせるか、対戦相手（市場）にどう立ち向かうかは、ファンド運用者最大の課題であり任務です。運用レベルの向上のために、強くなった日本のラグビーから学ぶべきものは多そうです。

観客と選手、投資家と投資先の相互作用

日本の快進撃が始まる前から極めてユニークで温かい雰囲気が漂っていたことも、今大会の特徴の一つでしょう。ウェールズのキャンプ地では、公開練習に集まった1万5千人の市民がウェールズ国歌を大合唱して選手たちを励ました。ニュージーランドチームから広がった試合後のお辞儀は、歓迎し応援してくれたファンたちへの感謝と敬意の表れでした。一方、台風の影響で試合ができなかったカナダとナミビアのチームは、感謝と連帯の気持ちから、被災地の復旧のためにボランティアを買って出たり、地元市民との交流会を行ったりしました。

ラグビー会場の周辺で見られたこうした光景が投資の世界でもさらに広がればいいなあと願わずにはられません。ただ儲かればいい（面白ければいい、勝てばいい）というのではなく、投資家と投資先が建設的に対話するなど前向きに交流していくことは、双方だけでなく社会全体にもプラスとなるはずで、私たちにもやるべきこと、やれることがたくさんあると気づかせてくれたワールドカップでした。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

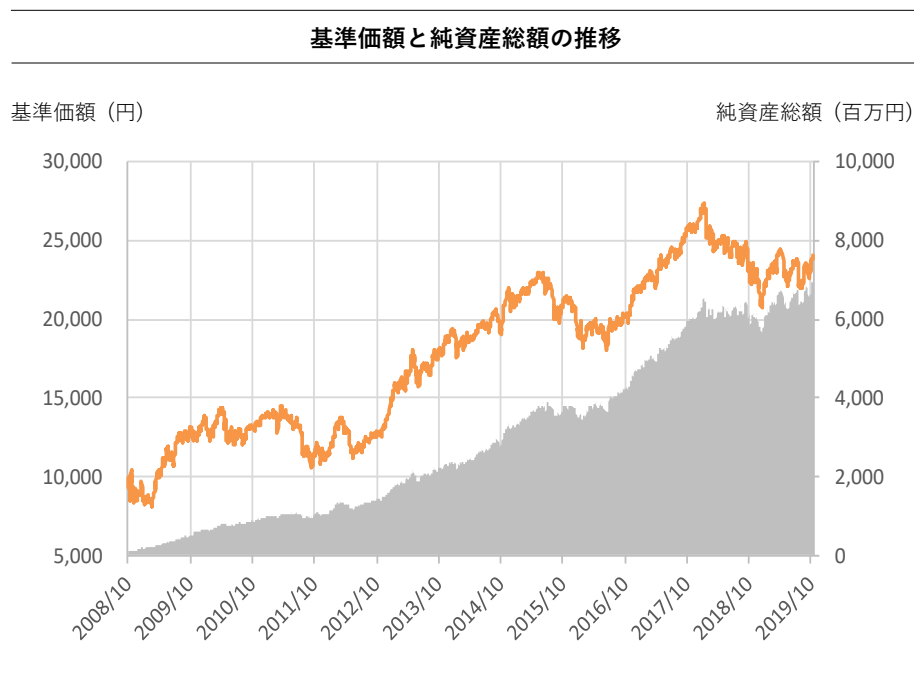
UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2019年10月末現在)

基準価額	
24,032 円	
純資産総額	
69 億 98 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	3.75%
1 年	7.94%
3 年	17.68%
5 年	19.82%
10 年	92.38%
設定来	140.32%
複利年率(%)	
8.27%	

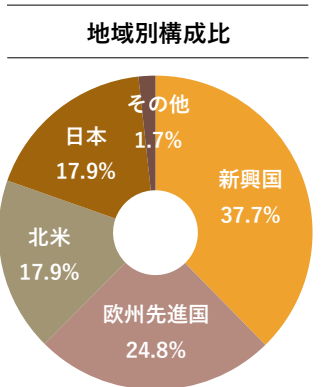
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.1%	5.0%
スパークス F	日本	9.1%	7.3%
キャピタル F	欧米	13.9%	3.9%
ハリス F	欧米	18.3%	6.0%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	7.3%	3.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	33.2%	3.0%
現金等	-	12.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2019年9月末現在)

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
 - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
 - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
 - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
 - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2019年10月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

10月の株式市場は概ね堅調でした。月初には、米国企業の景況を表すISM指数が予想を下回ったことや、民間の雇用調査が事前予想を下回ったことなどを受け、景気の先行き懸念からやや大きめに値下がりしましたが、その後は米中の貿易協議が進展しているとの観測や、英国のEU離脱問題で英国とEUが新たな離脱案で合意したことなどを好感し、月末に向けて上昇しました。

各種の経済指標は総じて景気減速を示すものが引き続き多い状況であり、例えばIMFによる恒例の世界経済見通しも予想どおり下方修正されました。しかし、投資家の心理を大きく悪化させるには至りませんでした。

市場では、全般に安全資産からリスク資産へと資金移動が進みました。債券が売られ株式が買われたほか、為替市場ではユーロなど欧州通貨と新興国通貨が上昇し、円は他の通貨に対して全面安となりました。

株価の堅調に円安・外国通貨高が加わり、組入ファンドはすべて値上がりしました。なかでもスパークスFとハリスFは前月に続き大きく値上がりし、ユニオンFの基準価額の上昇に寄与しました。

運用の状況

買付は見送りました。月末の組入比率は前月末と同水準の87.9%でした。

今後の見通しと運用方針

10月末に米国のFOMC（連邦公開市場委員会）は3回連続となる政策金利の引き下げを決めました。当局はしばらく景気の動向を注視する考えで、当面は追加利下げを見送る模様ですが、利上げも行わない可能性が高く、これが株式市場にはプラス材料となっています。

また、米中の貿易協議が合意に向かいつつあることも追い風です。ただ、合意といっても①部分的なものに過ぎず、火種が残っていること、②そもそも本当に合意に至るか確かではないこと、などには留意が必要です。これまでもたびたびあった土壇場でのちゃぶ台返しがないとは言えません。

このところ米国では史上最高値の更新が続いていますが、投資家の心理はかなり楽観的になっており、ちょっとしたマイナス材料にも打たれ弱い状況ではないかと、やや慎重に見ています。なかでも米中交渉がこじれたり、予想外に悪い景気指標が連続して発表されたりした場合には、株価が調整することも予想されます。

とはいえ、過去数ヵ月間の長期金利の大幅な低下と、米欧以外も含めた金融緩和の世界的な進展を支えに、景気は循環的な底入れ局面に達しつつあると見ています。このため、仮に株価が軟調となればむしろ買い増しの好機ととらえ、前向きに投資を続ける方針です。

運用責任者 久保田徹郎

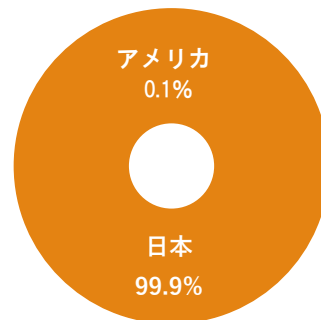
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



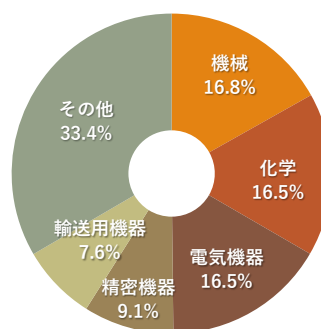
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリヂストン	4.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	4.2%	日本	化学	トイレット-首位
4 ダイキン工業	4.1%	日本	機械	エアコン世界首位
5 テルモ	3.4%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
6 信越化学工業	3.3%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポ-世界大手
7 浜松ホトニクス	3.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 TOTO	2.9%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.8%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 国際石油開発帝石	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
上位10銘柄	35.8%		現金等	8.4%

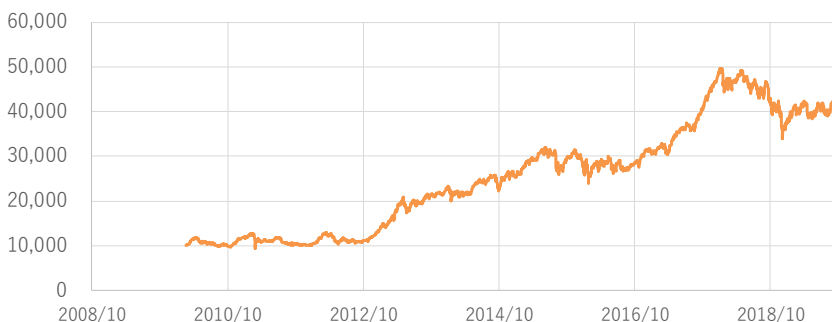
業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2019年10月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



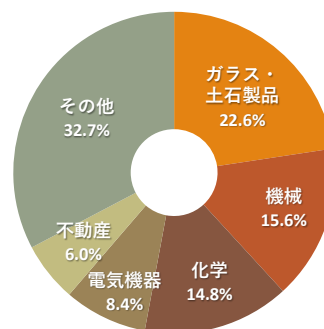
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボ-イラ-大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレ-など容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等			現金等	6.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2019年9月末現在 >

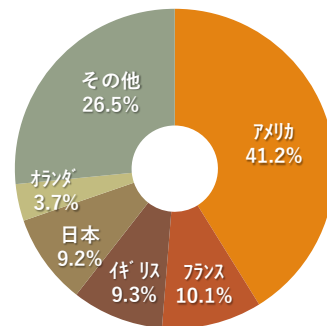
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



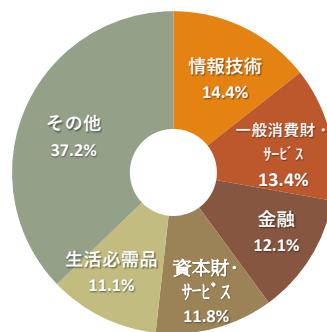
国別構成比



組入銘柄トップ10

順位	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	Enel	2.2%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
2	Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
3	Ocado	1.8%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
4	ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5	Microsoft	1.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
6	Pernod Ricard	1.7%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
7	Airbus	1.6%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
8	AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
9	Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
10	Iberdrola	1.4%	スペイン	公益	大手電力会社
上位10銘柄		17.0%		現金等	6.2%

業種別構成比



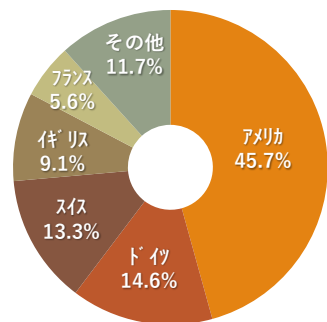
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年9月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



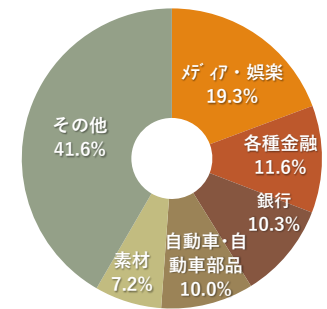
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

順位	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	BNP PARIBAS	5.1%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2	GLENCORE	5.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
3	DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4	CREDIT SUISSE	4.4%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5	CNH INDUSTRIAL	4.4%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
6	ALPHABET	4.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持ち株会社
7	BAYER	3.7%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
8	JULIUS BAER	3.6%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9	HILTON WORLDWIDE	3.3%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
10	CHARTER COMMUNICATIONS	3.3%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
上位10銘柄		42.0%		現金等	3.3%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年9月末現在>

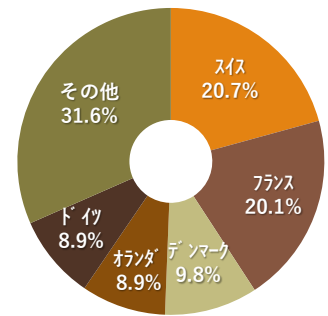
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



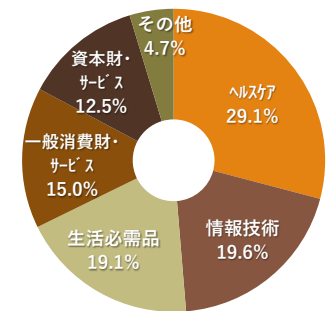
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ESSILORLUXOTTICA	4.5%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
2 ROCHE HD	4.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 ASML HD	4.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 STRAUMANN HD	4.0%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
5 INDITEX	3.8%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
6 NOVO NORDISK	3.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
7 SAP	3.6%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
8 HEINEKEN	3.5%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
9 AMADEUS	3.4%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
10 ASSA ABLOY B	3.3%	スウェーデン	資本財・サービス	鍵等のセキュリティシステム世界最大手
上位10銘柄	38.4%	現金等	7.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



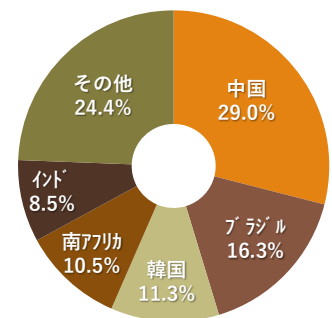
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年10月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



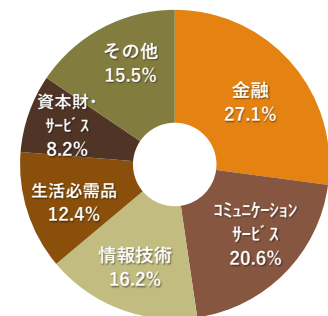
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	7.0%	中国	金融	保険大手
2 TSMC ADR	4.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 NETEASE ADR	4.2%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 BB SEGURIDADE	4.2%	ブラジル	金融	保険大手
6 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.5%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
7 SANLAM	3.4%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
8 POWER GRID OF INDIA	3.4%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
9 AIA	3.3%	香港	金融	生保・金融サービス
10 FOMENTO ECONOMICO	3.2%	メキシコ	生活必需品	飲料・コンビニエンス
上位10銘柄	41.0%	現金等	2.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年10月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

定期定額購入の引落しができなかった場合について

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行ないませんが、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しを行ないます。**なお、引落しできなかった分を翌月まとめて引落しすることはできません。**

当月引落しできなかった分の購入をご希望される場合は、スポット購入による方法にてご購入ください。また、定期定額購入と同じタイミングでの購入をご希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金をお客様専用の「ファンド購入用振込先口座」へお振込みください。引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

※ スポット購入の振込手数料はお客様のご負担となります。

スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。販売手数料はかかりません。

<当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限ります。>

現在、銀行などでは、口座振込の時間を延長する傾向にあります。弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」も、振込みが24時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、**当日15時までに弊社でご入金の確認ができたものが当日のお申込み受付分となります。**15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

- ※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。
- ※ お振込みの際は、「**振込依頼人**」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。
- ※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。
(お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

セミナーのお知らせ

生涯資産づくりセミナー in 名古屋のご案内

日時	2019年12月21日(土) 14:00 ~ 17:00 (受付開始 13:30) 終了後、簡単な懇親会 (~18:30) を予定しています。是非ご参加ください。
会場	ウイंकあいち 会議室「1109」 愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38
定員	40名 (お申込み順)
参加費用	無料 (懇親会参加の方は 500円)
申込方法	弊社業務管理部 (TEL:0263-38-0725) までお電話いただくか、弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」ページよりお申し込みください。(申込締切日:12月18日) https://unionam.co.jp/contact/index.html ◀弊社HP「資料請求・問い合わせ」ページからのお申し込み方法▶ ①ご依頼内容「お問い合わせ」にチェックしてください。 ②お名前、ご住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご入力ください。 ③お問い合わせ内容欄に「 12/21 参加申込み ○名(参加人数)」をご入力ください。 ※懇親会にご参加される場合は、加えて「 懇親会参加 」をご入力ください。
交通	JR名古屋駅 桜通口より徒歩約5分  地図

このセミナーは、投資信託その他金融商品についての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。／金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。／金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。